

39

淀殿の供養と顕彰碑の並ぶ太融寺

顧問先の会議が午前中、師に運よくお会いでき、終わったので、梅田散策。境内には参拝者が絶え間なく、数人の女性会阪人に親しまれている。社員が弁当を広げている。「北野の太融寺」に足がた。うわさどおりのにぎむき、ご住職の麻生弘道わいである。

いくつかの堂宇や石碑を見たあと、住職のお話をうかがった。「高野山真言宗に所属する当寺は、嵯峨天皇の勅願により弘法大師に開基されて、約1200年、大阪の人々とが大切だとお互いに確に親しまれてきました。認しあった。



御堂筋のからい

ここで、大阪の歴史を振り返る。大坂夏の陣(1615年)の敗戦と第二次世界大戦の空襲(1945年6月)で全焼しましたが、ご本尊の千手観世音菩薩は無事難をのがれました。戦後再建に着手し、見事復興しました。大阪人の活力はたいしたものですよ」と胸を張ってみせた。

今度は私からうかがった。「淀君の供養塔は勿論、それ以外では顕彰碑が目にとまり、開かれた公園ですね。特に広口富三郎の電報配達員の事故による殉職は感銘しましたね」「事故以降、大阪中央電報局がなくなった今も、NTT中之島営業所が引き継ぎ、毎年追悼法要を実施していますね」。身をもって語り継ぐ、こんな機会を持つこ

悪女というイメージ払しょく

時、人力車に激突してのどを突かれ、電報を固く握ったまま職に殉ぜられたという。少年時代に聞いた「職務を全うする」という言葉がよみがえってきた。住職と同年齢で、

太融寺 弘仁12(821)年に嵯峨天皇の勅願により弘法大師が創建された。天皇の皇子・河原左大臣源融(みなもとのとる)公がこの地に七堂伽藍(がらん)を建立し、浪華の名刹(めいさつ)とした。寺名は融公の一字を取って太融寺とした。

関東出身であることも手、人物らしくしました。次伝い、話のテンポが高ま、大阪城の石にいたく思った。

今度は住職から切り出してこられた。「大阪のシンボルである豊臣秀吉の側室・茶々を淀君とよぶ悪いイメージを、払しょくしたいのですよ。昔、た石が現れ、結局、追手

提寺の住職として黙っていられないのです」と、関東人らしい正義感を吐露された。「具体的にどんなことをされたのですか」と問うと、ひと呼吸後、住職は淡々と語り始めた。

「淀君には悪女としての軽べつの意味合いが込められており、この言葉のもつイメージを払しょくしたくて、供養塔の説明には『淀の方』と記し、秀吉没後の豊臣方を中心を後にした。

